

## 岡山県の地形

名称	地形種項目	コード	重要度	規模	保存度
しおのうち 塩之内断層	変動地形 > その他の断層崖	Tec-falt-3-1-OKAY	④	中線	C
所在地		図幅名			
岡山県 久米郡久米南町～柵原町		2.5万 津山東部・柵原（姫路14-4・15-3）・下弓削（高梁3-1）			
解説	塩之内断層は久米南町の上二ヶから北東に延び、塩之内、柵原町の本山川の谷を通り、吉井川の左岸の百々から甲和気川の谷へと続く、長さ約17kmの断層。確実度はⅠとされている。断層の正確な変位量は不明であるが、断層に沿って、比高100～150mの急斜面がみられる。				

名称	地形種項目	コード	重要度	規模	保存度
はたがなり 畑ヶ鳴断層	変動地形 > その他の断層崖	Tec-falt-3-2-OKAY	④	中線	C
所在地		図幅名			
岡山県 御津郡加茂川町・建部町・久米郡中央町		2.5万 下弓削・福渡・下加茂（高梁3-1・-2・-4）			
解説	畑ヶ鳴断層は加茂川町の本宮山（標高583m）の南東、畑ヶ鳴付近を北東－南西方向に走る長さ約3kmの断層で、地溝状の谷や流路の屈曲がみられる。確実度はⅠとされている。しかし、畑ヶ鳴断層は加茂川町の竹部から北東に延び、下加茂、畑ヶ鳴を通り、建部町の角石谷から中央町の打穴川の谷を通り、打穴里へと続く、長さ約30kmのリニアメントの一部に該当し、実際には、もっと広範囲である可能性が高い。畑ヶ鳴付近では、断層に沿って、比高50～100mの急斜面がみられるが、建部町に入ると、谷壁は100～200mの急斜面をなしている。				

名称	地形種項目	コード	重要度	規模	保存度
なびきさん 那岐山断層	変動地形 > その他の断層崖	Tec-falt-3-3-OKAY	④	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 津山市・勝田郡勝北町・奈義町		2.5万 日本原・檜（姫路14-1・-3）			
解説	那岐山断層是那岐山（標高1240m）の南側を東北東－西南西に走り、甲山（標高777m）、山形仙（標高791m）の南を通して、津山市北東部まで続く、約17kmの断層。確実度はⅡとされている。断層の正確な変位量は不明であるが、断層崖は比高400～700mの急斜面となっている。山麓部には、日本原にみられるような扇状地や分離丘陵がみられる。 見よ→日本原高原の扇状地：Flu-fan-1-2-OKAY				

名称	地形種項目	コード	重要度	規模	保存度
おおが 大賀衝上断層	変動地形 > 衝上断層	Tec-falt-4-1-OKAY	②	線	A
所在地		図幅名			
岡山県 川上郡川上町		2.5万 地頭（高梁12-2）			
解説	川上町仁賀地区にあり、中生代三畳紀の地層の上に古生代の石灰岩が衝上断層として押し被せているもので、大賀デッケンともいう。地形的には三畳紀層のなす水田面を石灰岩からなる山体が覆っている。断層の露頭は県道沿いの領家川の河床にあり、国の天然記念物に指定されている。また、世界2大デッケンの一つといわれる。				

名称	地形種項目	コード	重要度	規模	保存度
----	-------	-----	-----	----	-----

ひるぎんぼら 蒜山原の扇状地	火山地形 > 火山麓扇状地	Vol-fan-1-1-OKAY	③	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡八束村～川上村		2.5万 蒜山 (高梁5-1)			
解説	<p>蒜山は第三紀末から第四紀初期にかけて活動した古い火山で、安山岩溶岩で構成される。その南麓にはいくつもの扇状地が集まり、複合扇状地となっている。分布範囲は南北3 km、東西8 km程である。上蒜山から流れ下る井川の西側の扇状地が最も形が整っている。扇状地の末端は標高450m前後、旭川の沖積平野とは比高20～30mの崖で境され、段丘化している。大山テフラの分析によれば、扇状地の形成は10万年前より古い時期と考えられる。</p> <p>なお、蒜山原は上蒜山 (標高1200m)、中蒜山 (標高1122m)、下蒜山 (標高1100m) の蒜山三山の南麓に位置し、蒜山盆地のうち、旭川の河道より北側の山麓地域を指す。蒜山高原は河道南側の山麓を含めた広い地域を指す。</p> <p>一帯は大山隠岐国立公園に含まれ、スキー場や国民休暇村などが設けられている。</p> <p>見よ→蒜山高原の河岸段丘：Flu-terr-1-2-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
あてつだい 阿哲台	地質を反映した地形> カルスト台地	Str-cars-1-1-OKAY	*④	大	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市・阿哲郡哲多町		5万 皆部・新見 (高梁7・11)			
解説	<p>新見市南部を中心に広がる石灰岩台地。哲多町本郷から新見市を経て北房町の境界まで東西18 km、南北10 kmに分布し、阿哲石灰岩台地とも呼ばれる。標高は400～500m。この範囲すべてが石灰岩地域ではなく、緩やかに広がる吉備高原に石灰岩台地が断続的に分布している。高梁川とその支流佐伏川、小坂部川が台地面を200m近く切り込み、平坦な台地と深い谷が見事なコントラストを生み出している。高梁川右岸側の石蟹郷台 (いしがさとだい)、左岸側の北部にある唐松台、高梁川左岸で佐伏川との間にある草間台、佐伏川両岸にひろがる豊永台に細分される。台地上にはドリーネやウパーレを始め、井倉洞や満奇洞、宇山洞、鬼女洞など多くの鍾乳洞がある。一帯は高梁川上流県立自然公園に含まれる。</p> <p>見よ→唐松台のドリーネ群：Str-cars-3-3-OKAY 井倉洞：Str-cars-6-1-OKAY 井倉上の穴：Str-cars-3-1-OKAY 草間台のカッレンフェルト：Str-cars-2-1-OKAY 宇山洞：Str-cars-6-3-OKAY 満奇洞の石灰華段丘：Str-cars-7-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
じょうぼうがい 上房台	地質を反映した地形> カルスト台地	Str-cars-1-2-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市・阿哲郡哲多町・上房郡北房町		2.5万 皆部・新見 (高梁7-1・11)			
解説	<p>上房郡北房町一帯に広がる石灰岩台地。標高は350～400m。北房町の下皆部、上水田地区など備中川流域にみられる。ただし、西端の新見市との境界部のは阿哲台に含まれる。備中鍾乳穴は観光洞として有名であるが、ドリーネなどカルスト地形の発達はあまり顕著ではない。</p> <p>見よ→備中鍾乳穴の石灰華段丘：Str-car-7-2-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おおたがたい 大賀台	地質を反映した地形> カルスト台地	Str-cars-1-3-OKAY	④	中	B

所在地		図幅名			
岡山県 川上郡川上町		2.5万 備中市場・地頭 (高梁12-1・-2)			
解説	川上郡川上町一帯に広がる石灰岩台地。一部は備中町にも含まれる。標高は350～500m。この地域のすべてが石灰岩地域ではなく、緩やかに広がる吉備高原に石灰岩台地が断片的に分布している。川上町の高山、高山市、上大竹、下大竹、七地地区などにみられる。穴門山鍾乳洞や磐窟溪のダイヤモンドケープ、神野ドリーネなどがある。一部が高梁川上流県立自然公園に含まれる。 見よ→神野ドリーネ：Str-cars-3-2-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
草間台のカッレンフェルト	地質を反映した地形>カッレンフェルト	Str-cars-2-1-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市草間		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	草間台は新見市土橋から足見、草間地区にかけて、東西7km、南北10kmに広がる石灰岩台地で、東は佐伏川、西は高梁川に境される。標高は350～450m。台地上には、赤っぽい土壌の中に、むき出しになった白い石灰岩の岩塔が点在し、羊の群のようにみえる。耕地や住宅地では石灰岩の岩塊は人為的に除去されているが、畑の境にある竹林や果樹園などには点々と残っている。石灰岩塊の表面には溶食溝が発達している。こうした溶食溝は土壌に覆われた部分にも続いている。 カッレンとは溶食によって石灰岩に刻まれた溝状の地形、あるいは石灰岩を分断している広がった状態の溝を指す用語であるが、日本では、分断された石灰岩の岩塔にも転用されている。カッレンが広がる地域がカッレンフェルトと呼ばれる。 草間台一帯は高梁川上流県立自然公園に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
蓮台寺ポリエ	地質を反映した地形>ポリエ	Str-cars-5-1-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市土橋		2.5万 地頭 (高梁12-2)			
解説	土橋の土中付近には唐松台を30～50m切り込んで、細長い谷底平野が広がる。最大200mの幅もち、源流部としては幅が広く小盆地状を呈している。ドリーネが連結したウバーレがさらに侵食されてきたポリエ (溶食盆地) とみなされる。長さは1km余り、ポリエとしては小型である。谷底には水田が広がるが、水が乏しいため溜池によって灌漑されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
中野呂のウバーレ	地質を反映した地形>ウバーレ	Str-cars-4-1-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市井倉		2.5万 川面市場 (高梁7-4)			
解説	高梁川の右岸、井倉の南には熊野台地と呼ばれる標高350～420mの平坦な石灰岩台地が広がる。台地にはドリーネとみられる小さな凹地が点在している。その他に比較的大きな窪地も存在する。台地のほぼ中央、中野呂付近には南北に800mほど延びる浅くて大きな皿状の窪地がある。窪地の底は水田や畑として利用され、その中に石灰岩の裸岩が点在している。この皿状の窪地の中にはさらに数個の窪みがあり、全体として複数のドリーネが連結している状態にある。個々の穴の深さは20m未満である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
井倉上の穴(草間ドリーネ)	地質を反映した地形> ドリーネ	Str-cars-3-1-OKAY	④	中S	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市草間		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	草間台の西部、草西にあるドリーネで、標高370mの地点に形成された深さ20mの窪地。閉塞部は長さ500m、最大幅200mで、西端部が深くなっている。ドリーネ周辺は畑や果樹園となっている。ドリーネ底に開口する吸込み穴が井倉上の穴、あるいは“舞谷の穴”と呼ばれる。総延長280mの洞窟で鍾乳石もみられる。この洞内の水は井倉洞へと流れ出している。 見よ→ 井倉洞：Str-cars-6-1-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
神野ドリーネ	地質を反映した地形> ドリーネ	Str-cars-3-2-OKAY	④	小	B
所在地		図幅名			
岡山県 川上郡川上町神野		2.5万 地頭 (高梁12-2)			
解説	岡山県には阿哲台の他にも小規模なカルスト台地がいくつかみられる。川上町上大竹付近のカルストは大賀台と呼ばれる。上大竹の神野には小型ながら見事なドリーネが標高370m付近にみられる。凹地は50×50m、深さは10m余りで、畑として利用されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
唐松台のドリーネ群	地質を反映した地形> ドリーネ	Str-cars-3-3-OKAY	④	中	A
所在地		図幅名			
岡山県 新見市唐松・土橋		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	唐松台は阿哲台の北部を占める標高400～430mのカルスト台地である。台地上に数個のドリーネが並ぶ。深いものは20mほど。台地全体が針葉樹で被われ、集落は少ない。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
井倉洞	地質を反映した地形> 鍾乳洞	Str-cars-6-1-OKAY	④	線U	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市井倉		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	阿哲台の草間台にある1.2kmの石灰洞。井倉峡の観音嶽と呼ばれる絶壁に開口部をもち、落差50mの地軸の滝を始め、千人坊主、しゅろの柱、金すだれなど石筍、石柱、カーテンなど多様な鍾乳石がみられる。井倉上の穴のドリーネが吸込み穴で、長さ420m、高低差90mである。洞の開発は1959年に行われ、1.2kmの洞内周回路が完成した。高梁川上流県立自然公園の一部で、岡山県の天然記念物に指定されている。 見よ→井倉上の穴：Str-cars-3-1-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
日咩坂鍾乳穴	地質を反映した地形> 鍾乳洞	Str-cars-6-2-OKAY	④*	線U	A
所在地		図幅名			
岡山県 新見市豊永赤馬		2.5万 井倉 (高梁7-3)			

解説	日畔坂鍾乳穴は豊永赤馬の本宮にある県内最大の鍾乳洞で、落差50mのドリーネの底から続く吸込み穴である。洞口は高さ15m、幅7m。従来、洞窟は洞口から700mの神の池まで知られていたが、神の池の湖底から通ずる長さ約1kmの長大な新鍾乳洞が発見された。その結果、総延長は1600m、高低差は184mに達する大鍾乳洞であることが判明した。洞口から神の池までは鍾乳石など二次生成物の生長はよくないが、神の池から奥の鍾乳洞には、見事な石筍やつらら石、フローストーン、石灰華段丘が発達している。人跡未踏であったため保存状態はかなり良い。ただし、洞内の通行は極めて困難である。洞穴は岡山県の天然記念物に指定されている。秘坂鍾乳穴とも記す。
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
うやまどう 宇山洞	地質を反映した地形> 鍾乳洞	Str-cars-6-3-OKAY	④	線U	A
所在地		図幅名			
岡山県 新見市豊永宇山		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	新見市豊永宇山の阿哲台にある吸込み穴で、洞口は20×20m、延長1050m、高低差105mで傾斜が大きい。降雨時には地表水がドリーネから穴に流れ込む。洞内には鍾乳石がみられ、特につらら石やカーテンが良く発達している。つらら石やリムストーンもかなり見事である。洞内は所によっては落石によって穴が狭められたり、深い水溜りがあるため通行は困難である。なお、洞内からはナウマン象の化石が見つまっている。岡山県の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
みききどう 満奇洞の石灰華段丘	地質を反映した地形> 石灰華段丘	Str-cars-7-1-OKAY	④*	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市豊永赤馬		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	満奇洞は阿哲台の豊永赤馬、佐伏川右岸にある観光洞。洞長は450m、横穴型の小規模な鍾乳洞だが、洞内は変化に富み、石筍やつらら石、石柱、カーテンなどあらゆるタイプの鍾乳石をみることが出来る。特に、畦石（リムストーン）が良く発達している。洞の名前は地名の横から命名された。鍾乳洞は岡山県の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
びつちゅうかならあな 備中鍾乳穴の石灰華段丘	地質を反映した地形> 石灰華段丘	Str-cars-7-2-OKAY	④	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 上房郡北房町上水田		2.5万 皆部 (高梁7-1)			
解説	北房町上水田の上房台にある観光洞。洞口はドリーネの底に開口する吸込み穴で、標高350mにある。洞長は300m、小規模な鍾乳洞だが、洞内は変化に富み、五重の塔、笹の雪と呼ばれるフローストーンや3mを越える石筍、つらら石、石柱、カーテンなど各種の鍾乳石をみることが出来る。七町田に代表される畦石（リムストーン）も見事である。鍾乳洞は岡山県の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
だいがせん 大ヶ山	地質を反映した地形 > 平頂峰	Str-capr-1-1-OKAY	③	中	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡阿波村・加茂町		2.5万 美作加茂 (姫路13-4)			

解説	<p>大ヶ山は県北の阿波村と加茂町の境ある標高990mの山。花崗岩の上に第三紀末の玄武岩の溶岩が流出したもので、山頂部は起伏の小さい高原状の地形をなす。阿波川の支流と倉見川の支流によって深く開析され、周辺から孤立したメサ状を呈する。江戸時代には東麓部で風化花崗岩を削って砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行なわれていた。別名“台ヶ山”と記す。</p> <p>氷ノ山後山那岐山国定公園に含まれる。</p>
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おんぼら 恩原高原のメサ	地質を反映した地形 >メサ	Str-mesa-1-1-OKAY	②	中	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡上斎原村		2.5万 加瀬木(姫路13-3)・上斎原(高梁1-1)			
解説	<p>県の北西部、上斎原村の北東部から鳥取県境に広がる標高900～1000mの溶岩台地で周辺が開析されてメサ状となっている。台地の頂面は3×0.5kmの広がりを持ち、あまり開析されていない。花崗岩を覆う第三紀の安山岩及び同質碎屑岩から構成される。この台地は比高100～150mの急斜面で境され、その下には標高700～800mのなだらかな高原状の地形が広がり、全体としてみると階段状の地形となっている。こうした地形は西の清水高原にも見られる。</p> <p>メサ状の台地にその下の高原状の地域をも含めたものが、広義の恩原高原と呼ばれている。氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、昭和3年に完成した恩原湖周辺には青少年旅行村やキャンプ場などが設けられている。</p> <p>見よ→清水高原：Mis-pene-2-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
たかしみず 清水高原	地質を反映した地形 >メサ	Str-mesa-1-2-OKAY	②	中	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡上斎原村		2.5万 上斎原(高梁1-1)			
解説	<p>上斎原村の北西部、鳥取県の三朝町との境にある人形峠の北に広がる高原で、恩原高原とよく似た特徴をもっている。県境部には標高900～1000mの玄武岩の溶岩台地があり、周辺が開析されてメサ状となっている。ただし、台地の幅は大きくなく、尾根状に延びている。この台地は比高100m前後の急斜面で境され、その下には標高800m位の緩やかな斜面がみられる。花崗岩あるいは鮮新世の人形峠層から構成される。この面は吉備高原面と脊梁山地面の中間に位置する侵食小起伏面と考えられている。高原一帯は氷ノ山後山那岐山国定公園に含まれる。</p> <p>見よ→恩原高原のメサ：Str-mesa-1-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
くろいわ 黒岩高原	地質を反映した地形 >メサ	Str-mesa-1-3-OKAY	②	中	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡阿波村		2.5万 智頭(姫路13-1)			
解説	<p>阿波村の東部、鳥取県境にある標高900～950mのなだらかな高原。玄武岩溶岩から構成され、東西2km、南北2kmの広がりをもつ。周辺からの侵食に取り残されたメサ状の高原である。高原上を流れる落合川源流部は非常に緩やかで、ミズゴケの生育する湿原が点在している。落合川が黒岩高原を下る部分には落差30mの布滝(のんだき)があり、高原面との遷急点となっている。</p> <p>氷ノ山後山那岐山国定公園の一部に指定されている。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
あらかやま 弥高山	地質を反映した地形> 残丘	Str-res-1-1-OKAY	*②	中S	B
所在地		図幅名			
岡山県 川上郡川上町高山		2.5万 地頭(高梁12-2)			
解説	川上町高山にあり、吉備高原に屹立する標高654mの玄武岩からなるドーム状の山体。第三紀層を貫くマグマの通路部分が、侵食に対する抵抗力の違いによって残丘となったものである。周囲の高原面より100m近く屹立しており、頂上からは360度の展望を望むことができる。県の名勝に指定されており、遊歩道なども整備されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
あらかやま 荒戸山	地質を反映した地形> 残丘	Str-res-1-2-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 阿哲郡哲多町田淵		2.5万 新見・備中矢田(高梁11-1・-3)			
解説	阿哲町田淵にある玄武岩からなる残丘で、標高762m、ドーム状の美しい山容から、通称「阿哲富士」と呼ばれる。第三紀層を貫くマグマの通路部分が、侵食に対する抵抗力の違いによって残丘となったものである。噴出の時代は100~200万年前と考えられる。地元では鍋山とも呼ばれる。 見よ→荒戸山の柱状節理：Str-join-1-1-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
つねやま 常山	地質を反映した地形> 残丘	Str-res-1-3-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 玉野市・児島郡灘崎町		2.5万 八浜(岡山及丸亀1-2)			
解説	玉野市と灘崎町にまたがる標高307mの山。角山、恒山とも記す。古生代のチャートから構成されているため、周辺の花崗岩などと比べて侵食されにくく、円錐形の秀麗な景観を呈する。その姿から「児島富士」と呼ばれる。中世には常山城が築かれていた。頂上には無線中継所が置かれている。らせん状の登山道があり、自動車でも頂上まで登れる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おうじ だけ 王子が岳の岩峰群	地質を反映した地形> 岩峰・岩峰群	Str-rock-1-1-OKAY	④	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 倉敷市・玉野市		2.5万 宇野(岡山及丸亀2-1)			
解説	児島半島の南部は粗粒な広島型花崗岩が広く分布し、深層風化が進んでいる。風化物質が除去されて、風化されていない花崗岩が露出して、節理に支配された岩塔や岩峰が点在するようになる。加えて、瀬戸内沿岸は、降水量が少なく植生が発達しにくいいため、岩塔や岩峰が広く分布し、パッドランド化が起こっている。倉敷市と玉野市の境に位置する王子が岳は瀬戸内海に面し、南側には比高200mを越える急斜面が続き、中腹から山頂にかけて高さ10mに達する岩峰・岩塔がいたる所に露出している。緑の松林を彩る白い岩は独特の景観美を呈し、瀬戸内海国立公園に指定されている。しかし、これらの岩塔は急斜面に存在しており、崩壊や落石の危険性が高い。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
----	--------	-----	-----	----	-----

象岩	地質を反映した地形> 奇岩怪石・巨石群	Str-ston-1-1-OKAY	④*	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 倉敷市六口島		2.5万 下津井 (岡山及丸亀2-3)			
解説	下津井港から南西4kmに浮かぶ六口島の南西岸にある奇岩。象が水を飲む姿に似ていることから名付けられた。高さは約8m、花崗岩が波の侵食や風化を受けて形成された。国の天然記念物で、一帯は瀬戸内海国立公園に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
蓮華岩	地質を反映した地形> 奇岩怪石・巨石群	Str-ston-1-2-OKAY	④	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 赤磐郡熊山町石蓮寺		2.5万 万富 (姫路16-3)			
解説	熊山町石蓮寺の境内にある10mを越える花崗岩の巨岩。寺の十三重層塔を造るため、この地から用材を切り出したところ、石切場跡に残された岩が蓮の花弁のようにヒビ割れたことから名付けられた。深層風化を受けた花崗岩のうち、風化されていない花崗岩が残されて露出したもので、ヒビ割れは節理に支配されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
羅生門	地質を反映した地形> 天然橋・岩門・石門	Str-brid-1-1-OKAY	*②	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 新見市草間		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	石灰岩の洞窟の天井が陥没し、その一部がアーチ状となって残されたカルスト橋で、阿哲台草間にある。国の天然記念物に指定されている羅生門の第一門は高さ38m、幅17mに達する日本有数の天然橋である。羅生門には第一門から第四門まであり、その先は洞窟となっている。高梁川上流県立自然公園の一部にあたる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
荒戸山の柱状節理	地質を反映した地形> 柱状節理	Str-join-1-1-OKAY	③	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 阿哲郡哲多町田淵		2.5万 新見・備中矢田 (高梁11-1・-3)			
解説	荒戸山は阿哲町田淵にある玄武岩の残丘で、標高762m、ドーム状の美しい山容から、通称「阿哲富士」と呼ばれる。第三紀層を貫くマグマの通路部分が、侵食に対する抵抗力の違いによって残丘となったものである。登山道の中腹の露頭に五角形や六角形の柱状節理の発達した玄武岩がみられる。 見よ→荒戸山 : Str-res-1-1-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
女山の柱状節理	地質を反映した地形> 柱状節理	Str-join-1-2-OKAY	③	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡鏡野町土居		2.5万 香々美 (高梁2-1)			

解説	鏡野町土居に円錐型をした玄武岩の二つの小山、男山と女山がある。これらは第三紀層を貫くマグマの通路部分が、侵食に対する抵抗力の違いによって残丘となったものである。男山は標高260m、女山は標高204mである。玄武岩の柱状節理は女山の東側山腹にみられ、六角柱状の節理が石垣のように発達している。				
	町の天然記念物に指定されている。女山一帯は町のコミュニティ公園となっている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
とみいわた 鐘岩	地質を反映した地形> 板状節理	Str-join-1-3-OKAY	②	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市白石島		2.5万 白石島(岡山及丸亀6-4)			
解説	白石島の中央部、鬼ヶ城山(標高128m)山頂付近にある岩壁。花崗岩に脈状に貫入した半花崗岩(アプライト)の岩脈の壁面が露出したもの。数mの滑らかな壁面に10~20cmの方形の節理が一面に見られ、鎧の袖のようにみえることからこの名が付いた。				
	半花崗岩の岩脈に発達した節理は珍しく、国の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
てんぐやま 天狗山周辺バッドランド	地質を反映した地形> バッドランド(侵食作用)	Str-badl-1-1-OKAY	②	微	C
所在地		図幅名			
岡山県 玉野市宇野~田井		2.5万 八浜・宇野(岡山及丸亀1-2・2-1)			
解説	児島半島の北東部の貝殻山(標高289m)周辺や南部の山地にはマサ化が進んだ花崗岩が広く分布し、土壌が流失しやすい。また、年降水量は1000mm程度の少雨地帯で、加えて、海風の影響をうける。そのため、樹木は育ちにくく植生は乏しい。一度植生が失われると、その回復は困難である。このような地域には、雨溝やガリ(雨裂)が発達したバッドランド(悪地)が形成される。玉野市の天狗山(標高162m)周辺には、こうしたバッドランドが散在している。また、風化土が洗い流されて、花崗岩の未風化の部分が露出してできる岩塔も山頂部や山腹に点在している。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
たぐち のぶかぜ 田口・延風の地すべり地	地質を反映した地形> 地すべり地	Str-slip-1-1-OKAY	④	中S	B
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡美甘村田口・延風		2.5万 横部(高梁6-1)			
解説	旭川水系の新庄川中流部にみられる地すべり地。田口は新庄川の左岸に位置し、長さ1km、最大幅300mにかけて地すべり地がみられる。延風はその対岸、新庄川右岸に位置し、長さ1km、最大幅700mの地すべり地が分布している。標高はどちらも350~500mで、なだらかな斜面に棚田が広がる。いずれも蛇紋岩に起因する地すべり地で、田口では8ha、延風では32haが地すべり防止地域に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
うえやま 上山周辺の地すべり地	地質を反映した地形> 地すべり地・千枚田	Str-slip-1-2-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 英田郡英田町		2.5万 日笠(姫路15-2)			

解説	英田町の南部，上山地区の薬師堂から坊，空，中組にかけて見られる緩斜面。標高は350～200m，一帯は花崗閃緑岩から構成され，風化層に起因する地すべり地。斜面には上山千枚田と呼ばれる棚田が広がっている。地すべり地は標高400～500mに広がる吉備高原の山腹にあたり，上山の南部にある妙見山（標高519m）周辺は大芦高原と呼ばれ，平坦な山頂が続く。上山地区の143haが地すべり防止地域に指定されている。				
----	--	--	--	--	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
井倉峽	河川地形 > 峽谷	Flu-cany-1-1-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市井倉～草間		2.5万 皆部（高梁7-1）			
解説	高梁川の中流，草間からJR井倉駅付近まで約8kmの峽谷。石灰岩の台地を深く刻み込み，阿里佐淵や棚が瀬などの淵や早瀬が続く。左岸には阿哲台，右岸側には石蟹郷台（いしがさとたい）の平坦な台地がある。石灰岩の急崖は懸谷となっており，絹掛けの滝（落差50m）などがある。高梁川上流県立自然公園に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
豪溪	河川地形 > 峽谷	Flu-cany-1-2-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 総社市，上房郡賀陽町大和 峽谷		2.5万 豪溪（高梁8-1）			
解説	総社市榎谷から賀陽町峽谷にかけて高梁川水系の榎谷川中流にみられる渓谷。渓谷の規模は小さく，長さは2km足らずであるが，節理の発達した花崗岩を切り込んで，天柱山や剣峰，雲梯峰など比高50～100mの垂直の岩壁や清流が続く。国の名勝に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
神庭の滝	河川地形 > 滝及び滝壺	Flu-fall-1-1-OKAY	④*	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡勝山町		2.5万 横部（高梁6-1）			
解説	勝山町神庭にある中国地方最大の落差140mを誇る滝。旭川の支流の神庭川中流，標高450mにあり，幅12m，三段をなして落下する。水量も豊富である。造瀑層は上部が非常に硬いチャートで，下層部は柔らかい粘板岩から構成される。滝周辺は有料の公園となっており，遊歩道などが整備されている。公園内には，苔から水が滴り落ちる“玉垂れの滝”もあり，ニホンザルの餌付・観察が行なわれている。日本の滝百選の一つで，一帯は湯原・奥津県立自然公園の一部に含まれている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
岩井滝	河川地形 > 滝及び滝壺	Flu-fall-1-2-OKAY	④	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡上斎原村		2.5万 上斎原（高梁1-1）			

解説	吉井川の支流、中津河川の上流にある落差10m余。造瀑層は安山岩からなる。恩原高原を形成する平坦な地形を深く刻み込む中津河川の遷急点の一つとなっている。滝の裏側から滝を眺めることができるため、裏見の滝とも呼ばれる。滝の裏には不動明王が祀ってある。滝の下流100mには日本の名水百選の一つ、岩井の名水がある。水温は年間10～11℃、毎秒1ℓの湧水がある。この一帯は氷ノ山後山那岐山国定公園に含まれる。
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
不動滝	河川地形 > 滝及び滝壺	Flu-fall-1-3-OKAY	④	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡中和村		2.5万 富西谷 (高梁1-4)			
解説	中和村下和 (したお) の山乗川中流の峡谷にある滝。山乗川は旭川の支流で、津黒高原を切り込み、不動滝付近は一大遷急点となっている。滝の標高は580m、二条の流れが、落差20mを流れ落ちる。造瀑層は中生代の安山岩質凝灰岩で、滝の下流には狭い箱状の谷が100mほど続く。一帯は山乗溪谷として、紅葉が見事である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
奥津溪の甌穴群	河川地形 > 甌穴群 (ポットホール)	Flu-poth-1-1-OKAY	③	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡奥津町		2.5万 奥津 (高梁1-2)			
解説	奥津溪は吉井川中流にあり、奥津温泉の南、笠ヶ滝から下流へ約3km続く花崗岩の峡谷。琴淵や白淵、鮎返りの滝、天狗岩、女岩などがある。吉井川の遷急部にあたり、3kmの間で40mほど低下する。甌穴は節理の発達した花崗岩の河床沿いに断続的にみられる。甌穴駐車場付近では、現河床から8.5mの高さの岩棚上に10数個の甌穴がみられ、大きいものは直径80cm、深さ1mに達する。上流部の現河床には径2mを超えるものがみられる。甌穴群は県の天然記念物に指定されている。奥津溪は国指定の名勝、湯原・奥津県立自然公園に指定されており、カジカやオオサンショウウオが生息している。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
星田川の甌穴群	河川地形 > 甌穴群 (ポットホール)	Flu-poth-1-2-OKAY	③	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 小田郡美星町		2.5万 矢掛 (岡山及丸亀5-3)			
解説	小田川の支流、星田川の中流部、星田池と第二星田池の間に見られる甌穴群。この辺りは滝谷溪谷と呼ばれ、星田川は標高300m前後の山地を、屈曲しながら深く切り込んでいる。輝緑岩からなる河床を削り込み、唐川甌穴、鬼の臼、鬼の手洗いなど大小40余りの甌穴が点在している。大きなものは、径70～60cm、深さ1mを超える。星田池の影響で水量は多くはないが、清流でホテルの里として知られる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
足ヶ瀬甌穴群	河川地形 > 甌穴群 (ポットホール)	Flu-poth-1-3-OKAY	③	微	A
所在地		図幅名			

岡山県 真庭郡湯原町	2.5万 横部 (高梁6-1)
解説	湯原町の足温泉から真賀温泉にかけての旭川の河床にある甌穴群。この辺りは、旭川が900m級の山地を切り込み、峡谷状を呈している。甌穴は旭川の川底にみられ、花崗閃緑岩からなる河床に、径30～40cm、時に1mを越える穴がいくつか見られる。甌穴の配列は、NW—SE方向に発達する節理に影響されている。

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
かみやまさか 上山坂の土柱	河川地形 > 土柱	Flu-pila-1-1-OKAY	②	微	B
所在地		図幅名			
岡山県 玉野市上山坂		2.5万 犬島 (徳島13-4)			
解説	児島半島の北東部の貝殻山 (標高289m)、八丈岩山 (標高281m) 周辺にはマサ化が進んだ花崗岩が広く分布し、土壌が流失しやすい。そして、年降水量は1000 <sup>mm</sup> 程度の少雨地帯である。そのため、樹木は育ちにくく植生は乏しい。一度植生が失われると、その回復は困難である。このような地域には、雨食によって雨溝やガリ (雨裂) が発達する。風化花崗岩地帯では、雨食が節理に沿って進むため、削り残された部分が塔状に残る。こうして、風化花崗岩 (マサ土) からなる土柱ができる。玉野市の北部、金甲山の東方の山麓に位置する上山坂から胸上地区にかけて、こうした土柱を散在的に見ることができる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
よしいがわ 吉井川の穿入蛇行	河川地形 > 穿入蛇行	Flu-mean-1-1-OKAY	④	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡鏡野町・奥津町		2.5万 香々美 (高梁2-1)			
解説	鏡野町真加部から奥津町黒木にかけての12kmの間、吉井川中流部は山地を切り込み、6回ほど屈曲して流れている。氾濫原の幅もそれほど広くなく、貫入曲流 (はめ込み蛇行) の様相を呈している。一帯は標高300m前後の山地で、三都変成岩類から構成されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
たかはしがわ 高梁川の穿入蛇行	河川地形 > 穿入蛇行	Flu-mean-1-2-OKAY	④	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市正田～鬼女洞		2.5万 井倉・川面市場・新見 (高梁7-3・-4・11-1)			
解説	新見市町正田から鬼女洞にかけての16kmの間、高梁川中流部は山地を切り込み、6回ほど屈曲して流れている。氾濫原の幅もそれほど広くなく、貫入曲流 (はめ込み蛇行) の様相を呈している。一帯は標高400～500mの吉備高原が広がり、大半は阿哲台などを構成する石灰岩地域を切り込む。下流部は井倉峡と重なり、高梁川上流県立自然公園に指定されている。 見よ→阿哲台 : Str-cars-1-1-OKAY 井倉峡 : Flu-cany-1-1-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
よしい 吉井付近の環流丘陵	河川地形 > 環流丘陵	Ful-mean-2-1-OKAY	②	中S	A
所在地		図幅名			
岡山県 後月郡芳井町吉井		2.5万 井原 (岡山及丸亀9-1)			

解説	<p>高梁川の支流、小田川中流部の芳井町吉井にみられるもので、旧流路は西へ大きく屈曲し、最大300mの比較的幅広い谷底平野となっている。この地域の環流丘陵は一つだけではなく、大小4つの環流丘陵が集中している。1辺1kmの三角形をした最も大きな環流丘陵（標高198m、現河床からの比高は130m）、山内付近の標高130mのもの、沢岡付近の標高130mのもの、篠原付近の標高125mのものである。環流丘陵は古生代～中生代の粘板岩や火成岩から構成され、流路の一部は北東―南西方向に走る古い断層に沿っている。旧流路の谷底平野西端部は沖積錐に覆われ、やや高くなっているが、東の築瀬付近では現在の小田川の氾濫原へと調和的に続いている。</p> <p>すぐ上流部には県の名勝、天神峡がある。</p>
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
なかたに 中谷付近の環流丘陵	河川地形 > 環流丘陵	Ful-mean-2-2-OKAY	②	中S	A
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡鏡野町中谷		2.5万 香々美 (高梁2-1)			
解説	<p>吉井川の支流、中谷川下流部の鏡野町中谷の古実里（そんぞり）にある。旧流路は西へ大きく屈曲し、現在の中谷川の氾濫原と調和的に続いている。かつての谷は水田として利用されている。旧流路で縁取られる環流丘陵は三郡変成岩類から構成され、その頂部は標高210m、現河床からの比高は30mほどである。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
しもこうめ 下神目付近の環流丘陵	河川地形 > 環流丘陵	Ful-mean-2-3-OKAY	②	中S	A
所在地		図幅名			
岡山県 御津郡建部町		2.5万 福渡 (高梁3-2)			
解説	<p>旭川の支流、誕生寺川下流の右岸側にある。誕生寺川のかつての流路は下神目神原付近で北に大きく屈曲していた。現在の流路は丘陵を切断して、半径の小さな弧を描いて流れる。旧流路に沿う平地は現在の氾濫原に調和的に続いている。旧流路で縁取られる細長い環流丘陵は高田流紋岩類から構成され、その頂部は標高90m、現河床からの比高は20mほどである。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
かみたけ 上竹付近の河川争奪	河川地形 > 河川争奪地形	Ful-pira-1-1-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 上房郡賀陽町上竹		2.5万 有漢市場・豪溪 (高梁7-2・8-1)			
解説	<p>高梁川水系の有漢川の支流佐与谷川が旭川の支流宇甘川の上流部、賀陽町西地区を争奪している。この地域は標高400m前後の定高性の著しい高原状の侵食面が広がる。宇甘川はこうした侵食小起伏面をわずかに開析しながら北西から北へ流れている。一方、佐与谷川は侵食面を深く切り込み、比高200mを越える谷壁が続いている。隣接する両河川の河床勾配の違いが争奪の原因と考えられる。風隙は上竹の片山付近、標高約340m付近にある。</p> <p>見よ→ 宇甘川上流部の埋積谷：Flu-bury-1-2-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
しみいすえ 下出部付近の谷中分水界	河川地形 > 谷中分水界	Ful-divv-1-1-OKAY	②	線	B
所在地		図幅名			

岡山県 井原市下出部町		2.5万 井原 (岡山及丸亀9-1)			
解説	<p>高梁川水系の小田川は井原市に入ると徐々に東方向へ流れを変え、井原市の中心部市役所付近より下流では、ほぼ東流するようになる。市街地の西側にも東北東-西南西方向に延びる地溝状の幅広い谷底平野が存在する。平野の幅は500mを越え、井原鉄道が走る。西へ向かうと平野の水は芦田川水系高屋川によって排水される。井原市下出部町に高屋川と小田川水系の谷中分水界がある。平野は非常に緩勾配であること、人工的な排水路が造られていることなどから、正確な分水地点を定めることは困難である。</p> <p>小田川はかつて山野川とよばれ、近世以前は地溝状の平野を西に流れ、芦田川に注いでいたが、元和5年(1619)、福山藩の水野氏が福山城の築城に際し、井原に堤防を築いて、東の矢掛町側へ流し、高梁川に注ぐようになったという。歴史時代全般を通してみれば、小田川は井原市街地付近で時には西流し、時には東流していたと考えられる。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
さとみ 里見付近の谷中分水界	河川地形 > 谷中分水界	Ful-divv-1-2-OKAY	②	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 浅口郡里庄町		2.5万 笠岡 (岡山及丸亀5-4)			
解説	<p>高梁川下流部の西側、船穂町から倉敷市玉島地区、金光町、鴨方町、里庄町にかけて、東北東-西南西方向にリニアメントが延びており、それに沿って幅の広い低地が形成されている。JR山陽本線や国道2号線はこの低地に沿って走っている。特に鴨方町から里庄町の間6kmは非常に直線的で、小規模な地溝状の谷底平野が存在する。この平地を東の里見川から西に向かうと、里庄町里見の役場の東、平井の標高約20mの地点に新庄川との分水界がある。里見川は玉島湾へ、新庄川は今立川に合流して笠岡湾に注いでいる。平野の勾配は非常に小さいため、分水界であると実感することは難しい。里見川水系には、こうした谷中分水界が他にもみられる。平井の南方にある県道矢掛鴨方線の鴨方町と寄島町の境界部、平井の北方にある鴨方町小坂西の沖ノ店付近である。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おぼら 小原付近の谷中分水界	河川地形 > 谷中分水界	Ful-divv-1-3-OKAY	②	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 久米郡中央町小原		2.5万 下弓削 (高梁3-1)			
解説	<p>中央町の小原付近には浅くてやや広い谷が南北方向に続く。この谷に沿って、JR津山線と国道53号が並行して走っている。小原駅前の182mの水準点付近が、南へ流れる誕生寺川(旭川水系)と北へ流れる皿川(吉井川水系)の分水界となっている。谷沿いには第三紀の備北層群が堆積しており、もともと起伏は大きくなかったようである。この付近には東西の小谷から押し出した沖積錐が分布しており、これによって皿川の源流部がせき止められた可能性がある。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
あさひがわ 旭川中流部の谷底平野	河川地形 > 谷底平野	Flu-plan-1-1-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡勝山町～落合町		2.5万 久世・勝山 (高梁2-4・6-2)			

解説	<p>新庄川が合流する勝山町勝山から久世町を経て備中川が合流する落合町垂水にかけての約12kmの間、旭川は幅の広い谷底を形成している。谷底には氾濫原が山麓まで続いている。川幅は100～150mであるのに氾濫原の幅は1～2 kmにも達し、川に沿って開けた盆地状となっている。この周辺は三郡変成岩地帯であるが、河川沿いには第三紀の備北層群が断片的に分布しており、基盤岩も堆積盆地状をなしていた可能性が高い。こうした比較的柔らかい第三紀層を侵食して、幅広い谷底平野が形成された。</p>
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おだがわ 小田川中流部の埋積谷	河川地形 > 埋積谷	Flu-bury-1-1-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 井原市・笠岡市・小田郡矢掛町		5万 玉島・井原 (岡山及丸亀5・9)			
解説	<p>井原市の市街地が位置する井原町から、一部笠岡市の領域を通して、矢掛町東端東三成までの約20kmの間、小田川は幅の広い谷底平野を形成している。平野の幅は最低でも500mあり、1 kmを越える部分も多い。この地域はほぼ全域が風化の著しい花崗岩地帯に相当し、小田川の支流には天井川となっているものも多い。このような支流の小河川は小田川に大量の土砂を流し込み、小田川の河床勾配も少ないため、広い埋積平野が形成された。小田川の流路は、谷底平野の中で自由蛇行のように屈曲を繰り返しながら東へ流れ、河道内には各所に土砂の堆積による中州が見られる。河床勾配が小さいため、古くから洪水氾濫による被害を頻繁に受けてきた。そのため、平野に立地する集落は、平野よりかなり高い土台を築いている。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
うかいがわ 宇甘川上流部の埋積谷	河川地形 > 埋積谷	Flu-bury-1-2-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 上房郡賀陽町上竹		2.5万 有漢市場 (高梁7-2)			
解説	<p>旭川の支流宇甘川の上流部には河川の流量に比べて広い谷底平野が存在する。平野の幅は1 km、長さは2 km、水田が広がる。平野を挟む東西に、標高600m近くの矢倉山、神子山など中生代の流紋岩や安山岩からなる山々が屹立しており、その山麓には第三紀の備北層群が分布している。備北層群は側方侵食されやすく、なだらかな丘陵状の地形を呈している。しかし、このような広い谷底平野が残されているのは、河川争奪に起因する。争奪河川は高梁川水系の有漢川の支流佐与谷川である。風隙は上竹の片山付近、標高340m付近で、そこが宇甘川の現在の源流となっている。しかし、争奪以前には、宇甘川の源流はさらに南へ5 km地点にあり、この地域は上流部と中流部の間に位置する侵食盆地であった。この地域の宇甘川は無能河川化しているといえる。 見よ→上竹付近の河川争奪：Ful-pira-1-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ふといのさか 太井ノ坂の河岸段丘	河川地形 > 河岸段丘及び段丘崖	Flu-terr-1-1-OKAY	④	小	B
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡美甘村		2.5万 横部 (高梁6-1)			
解説	<p>旭川の支流、新庄川中流部では断続的に河岸段丘がみられる。美甘村の盆地部から美甘溪谷にかけて、高位(比高30m前後)、低位(10～20m)の二段の段丘が発達している。太井ノ坂は美甘溪谷の南端部の新庄川右岸に位置し、高位段丘と低位段丘が階段状に分布している。厚さ数mの砂礫層から構成される。形成時代は不明である。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ひるぜんこうげん 蒜山高原の河岸段丘	河川地形 > 河岸段丘及び段丘崖	Flu-terr-1-2-OKAY	④	小	C
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡川上村・八束村		2.5万 蒜山(高梁5-1)			
解説	<p>旭川の上流部、蒜山高原には旭川沿いに3段の河岸段丘が見られる。高位(比高30~40m)のものは蒜山原の扇状地の末端が開析されたもので、旭川北岸に連続して見られる。中位(20m)のものは旭川の南岸、東茅部付近にみられる。低位(10~15m)のものは両岸に断続的にみられる。テフラの分析などから、高位面の形成は10万年前より古い時期、中位面は始良AT火山灰降下より古い(2.5万年前)、低位面はそれ以降に形成された。</p> <p>見よ→蒜山原の扇状地：Vol-fan-1-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
すえまさがわ 末政川の扇状地	河川地形 > 扇状地	Flu-fan-1-1-OKAY	③	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 吉備郡真備町		2.5万 箭田(岡山及丸亀5-1)			
解説	<p>末政川は真備町東部を流れる延長6kmほどの小河川。高梁川水系の小田川に注いでいる。流域は風化の進んだ花崗岩地帯にあたり、多量の土砂を運びだしている。しかし、下流部の小田川の谷底平野は非常に平坦で、河床勾配も小さい。そのため、末政川が平野へ出る付近から南東方向、東の高梁川と南の小田川の間には扇状地が形成されている。大きさは幅2km、長さ1.5km、平均勾配は約1/200である。末政川は河道が固定されているため、天井川となっている。形成時期は歴史時代以降とかなり新しく、構成物も礫ではなく、砂である。</p> <p>見よ→末政川の天井川：Flu-rbed-1-1-OKAY</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
にほんぼら 日本原高原の扇状地	河川地形 > 扇状地	Flu-fan-1-2-OKAY	④	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 勝田郡勝北町・奈義町・勝央町		2.5万 日本原・檜(姫路14-1・-3)			
解説	<p>勝北町から奈義町にかけて広がる台地。広義には西の山形仙(標高791m)から滝山(1197m)、那岐山(1240m)にいたる那岐山塊の南麓、勝北町山形地区から奈義町高円までの東西約10kmに広がる台地を日本原高原という。狭義には、滝山の南麓の標高400m付近から南に約8km、勝央町北西部まで、広戸川と滝川に挟まれた幅1~2km範囲を指し、日本原台地とも呼ばれる。日本原台地は日本原礫層から構成される。この礫層は北部では角礫を含むが、南部では淘汰された円礫層からなり、厚さは5m前後、時に30mを越え、扇状地性の堆積物である。扇状地の地形が認められるのは標高290~200mの範囲で、その北側は山麓緩斜面状となる。日本原台地は開析が進み段丘化している。現河床との比高は20~25mである。東方の奈義町高円付近に広がる奈義台地もこれと似た地形が見られる。扇状地は高殿川と淀川に挟まれた標高300~240mの範囲に発達する。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
いど 伊田付近の沖積錐	河川地形 > 沖積錐	Flu-cone-1-1-OKAY	⑤	中	B
所在地		図幅名			

岡山県 御津郡御津町伊田		2.5万 金川 (高梁4-1)
解説	御津町伊田付近には旭川の支流、新庄川によって幅500mを越える谷底平野が形成されている。伊田の酒屋谷には南方から流れ出る小谷によって沖積錐が形成されている。幅は500m程、勾配は1/40である。小谷の流域は広島型花崗岩からなり、源は標高300mに達する。	

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
たわらかみ 田原上付近の沖積錐	河川地形 > 沖積錐	Flu-cone-1-2-OKAY	⑤	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 和気郡和気町田原上		2.5万 和気 (姫路16-1)			
解説	和気町田原上の北部に位置する大樋には、西の国山 (標高357m) 付近から流れる小谷によって沖積錐が形成されている。吉井川の右岸に接して、幅700mで等高線はきれいな同心円となっている。勾配は1/20である。谷の下流部は花崗岩からなるが、上・中流部は高田流紋岩類から構成され、急な斜面が多い。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
かみみずた 上水田付近の沖積錐	河川地形 > 沖積錐	Flu-cone-1-3-OKAY	⑤	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 上房郡北房町上水田		2.5万 皆部 (高梁7-1)			
解説	北房町の皆部から上水田、宮地にかけては、旭川水系の備中川や中津井川によって幅500～800mの広い谷底平野が形成されている。上水田の西谷から谷尻にかけて、南方から流れてくる河川によって沖積錐が形成されている。沖積錐の幅は1km程、勾配は1/70である。川の源は標高514mの四峰山で、上房台の石灰岩台地を深く切り込んで流れてくる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ちすいがわ 血吸川の天井川	河川地形 > 天井川	Flu-rbed-1-1-OKAY	②	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 総社市西阿曾・岡山市高松田中		2.5万 総社東部 (高梁4-4)			
解説	血吸川は総社市の北部、登龍山 (標高462m) 付近に源を發し、南東へ流れて笹ヶ瀬川水系足守川の支流砂川へ合流する延長約5kmの河川。上流部は風化の進んだ花崗岩地帯で多量の土砂を運びだしている。下流部では足守川の谷底平野が広がる。非常に平坦で、河床勾配も小さい。氾濫を防ぐための連続堤が築かれ、河道が固定されているため、河道に土砂が堆積して天井川となっている。天井川は西阿曾から下流約3kmである。砂川も天井川である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
すえまさがわ 末政川の天井川	河川地形 > 天井川	Flu-rbed-1-2-OKAY	②	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 吉備郡真備町		2.5万 箭田 (岡山及丸亀5-1)			

解説	末政川は高梁川水系の小河川。真備町北部の総社市との境界から南東へ流れ、有井で小田川に合流する。上流部は風化の進んだ花崗岩地域で多量の土砂を運びだしているが、下流部では小田川の谷底平野が非常に平坦で、河床勾配も小さい。氾濫を防ぐための堤防が築かれ、河道が固定されているため、河道に土砂が堆積して天井川となっている。有井付近で周囲の平野面より1m近く高くなっている。
	見よ→末政川の扇状地：Flu-fan-1-1-OKAY

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
しおがまらいせん 塩釜冷泉	河川地形 > 湧泉・湧泉群	Flu-sprg-1-1-OKAY	*⑤	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 真庭郡八束村		2.5万 蒜山 (高梁5-1)			
解説	中蒜山山麓、標高520mにある湧泉で、扇状地の伏流水が扇端付近に湧き出したものである。旭川の支流井川の源流となっている。冷泉は東西5m、南北12mのひょうたん形をした池の底から砂をまきあげて、噴出している。1日に約2.5万tの豊富な湧水があり、地元の水道の水源となっているほか、養魚場に利用されている。湧き出す水は全硬度が少し多いがおいしい水である。				
	日本百名水に選ばれている。近くには釣堀養魚場がある。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
くさま 草間間歇泉	河川地形 > 湧泉・湧泉群	Flu-sprg-1-2-OKAY	*②	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 新見市草間		2.5万 井倉 (高梁7-3)			
解説	新見市草間の佐伏川の谷底に間歇的に噴出する湧泉で、一日4回、約6時間毎に平常の10倍以上の水が噴出する。佐伏川河床から8mほど高い位置に、径50cmの噴出口がある。カルスト台地の地下の空洞にたまった地下水が一定量に達するとサイホンの原理で噴き出すものと推定されている。地元では潮瀧と呼ばれ、古くから海の潮の干満が間歇的な噴出の原因と考えられていた。草間冷泉ともいわれる。間歇冷泉は日本では稀で、国の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
すながわ 砂川中流部の自然堤防	河川地形 > 自然堤防	Flu-leve-1-1-OKAY	⑤	中S	C
所在地		図幅名			
岡山県 赤磐郡瀬戸町沖～岡山市		2.5万 備前瀬戸 (姫路16-4)			
解説	砂川は吉井町西部に水源を發し、南に流れて赤坂町、山陽町、瀬戸町を抜けて岡山市に入り、百間川に合流して児島湾に注ぐ、延長39km、面積139km <sup>2</sup> の河川。名前の通り河床には花崗岩起源の土砂が堆積している。山陽町から下流部では平野が広がり、一部が天井川となっている。自然堤防も山陽町から下流部で断続的に分布している。瀬戸町の瀬戸から南南東へ延びる一筋の自然堤防は、下、沖、岡山市東平島、岡山市南古都へと約3km続いており連続性が良い。平野からの比高は1m、幅は50m程度と狭いことから、天井川化していた旧砂川の河道跡である可能性が高い。江戸時代に、瀬戸―南古都の砂川の流路が西寄りへ改修された。この自然堤防は、それ以前の砂川の流路（河道と堤防を含む）であろう。現在は街村状に集落が立地している。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
----	--------	-----	-----	----	-----

かみなかしま 上中島付近の自然堤防	河川地形 > 自然堤防	Flu-level-1-2-OKAY	⑤	中S	C
所在地		図幅名			
岡山県 都窪郡清音村上中島		2.5万 箭田 (岡山及丸亀5-1)			
解説	清音村上中島には、高梁川の左岸堤防の下から東方のJR伯備線の間、幅200～300mの微高地がみられる。これは高梁川が形成した自然堤防で、水田面より1m近く高くなっており、住宅地や畑地として利用されている。川に沿って、南北方向に1.5kmほど続く。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ひきつけがわ 百間川	河川地形 > 旧河道	Flu-old-1-1-OKAY	*⑤	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 岡山市		2.5万 岡山北部(高梁4-2)岡山南部(岡山及丸亀1-1)			
解説	岡山平野を流れる旭川に造られた人工的な派川の跡。旭川の左岸、竹田と中島の間から南東へ流れ、操山山塊に沿って東流し、米田付近から南に向きを変えて児島湾に注ぐ。延長13km、川幅は200～300m。百間川は17世紀の後半に岡山藩が洪水対策として開削した分流で、それ以前の旧河道を改めて開削しなおしたものである。普段は流水がほとんどないため、河道跡は水田などに利用されていた。昭和49年(1974)から国による改修工事が始まり、百間川放水路として整備された。河道内には幅70mの排水路と広大な河川敷があり、河川敷には各種の運動公園が造られている。平時は水門が閉じられているため流水は少ない。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ひがしたかはしがわ 東高梁川	河川地形 > 旧河道	Flu-old-1-2-OKAY	*⑤	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 倉敷市		5万 岡山南部・玉島 (岡山及丸亀1・5)			
解説	高梁川は流路延長117km、流域面積約2700km <sup>2</sup> の岡山県最大の河川。東高梁川は明治時代まで流れていた高梁川の分流。鉄穴流しによる土砂の流出で広大な三角州が形成されたが、一方で河床が上昇して氾濫が頻発するようになった。こうしたことから、高梁川では河道の改変や開削が多い。明治以前の高梁川は倉敷平野の北、八幡山の北麓で東西2つに分かれて玉島湾に注いでいた。西高梁川は、八幡山の西(現柳井原貯水池)を通して、現在の高梁川の流路から玉島湾に注いでいた。東高梁川は八幡山の北から東へ屈曲し、酒津から南へと流れ、連島の東で玉島湾に注いでいた。明治40(1907)～大正14年(1925)に高梁川の河川改修事業が行なわれた。酒津から南西に水路を開削して東高梁川と西高梁川を結び、八幡山の西流路を閉め切り、併せて酒津以南の東高梁川を廃川とした。これによって、河川跡地に454haの新たな土地が生まれ、河口部に323haの新田ができたという。河川跡地は工業用地として利用されたが、近年は住宅地も多い。東高梁川は天井川となっていたようで、周辺の平野面より少し高く、自然堤防状を呈している。幅500mの旧河道を長さ9kmほどたどることができる。旧河道の東端を水島臨海鉄道が走り、酒津堰で取水された南部用水が旧河道の中央を流れている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ゆすぎがわ 油杉川の後背湿地	河川地形 > 後背湿地	Flu-back-1-1-OKAY	⑤	中S	C
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡長船町		2.5万 和気 (姫路16-1)			

解説	<p>長船平野の東部、磯上から福里にかけて油杉川沿いには、標高5 m前後の低湿な水田地帯が広がる。平野西部を流れる吉井川の堤内地に相当し、油杉川の河床勾配が小さいため、排水不良となった地域である。そのため、この地域では溝を掘って土を盛り上げる「揚げ田」を作って、耕地の乾田化が古くから行なわれている。現在、油杉川の右岸側に沼地が残っている。長方形の堀のように人為的に囲い込まれ、その中心部は葦の茂る草地となっている。遊水池としての役割を果たしており、水鳥の憩いの場ともなっている。</p>
----	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
せんちょうがわ 千町川の後背湿地	河川地形 > 後背湿地	Flu-back-1-2-OKAY	③	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡邑久町・岡山市		2.5万 西大寺 (徳島13-3)			
解説	<p>千町川は邑久町庄田に源を発し、邑久丘陵の北麓を西に流れる延長16 km、流域面積39 km<sup>2</sup>の吉井川の支流。中・下流は排水機能が高い。千町川に沿って、邑久町下浦付近から岡山市の西大寺五明にかけての7 kmの間に低湿地が帯状に続いている。低湿地の南限は邑久丘陵の北麓で、千町川を挟んで幅0.5～1 km広がる。吉井川につくった自然堤防の背後の低地に該当する。低湿地帯は周囲の平野より1 mほど低くなっている。千町川は邑久町大橋付近で南北に分流しているが、北のものは古川と呼ばれ、河川改修前の旧流路の名残である。</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おかやまへいや 岡山平野	河川地形 > 三角州	Flu-delt-1-1-OKAY	*⑤	大	C
所在地		図幅名			
岡山県 岡山市・倉敷市・都窪郡早島町・邑久郡邑久町		5万 和気 (姫路16) ・西大寺 (徳島13) ・岡山北部 (高梁4) ・岡山南部・玉島 (岡山及丸亀1・5)			
解説	<p>岡山平野は岡山市から倉敷市まで東西40 kmほど続く瀬戸内屈指の沖積平野である。岡山平野一帯は、中世までは“吉備の穴海”とよばれる大きな内湾で、児島半島は瀬戸内海に浮かぶ島であった。この穴海には、現在は陸封されている操山丘陵や京山、吉備中山、早島、向山、連島、乙島、柏島など多数の島が浮かぶ多島海となっていた。吉井川・旭川・高梁川の三大河川やその支流の砂川、笹ヶ瀬川、足守川、里見川が運んできた大量の土砂によって穴海は埋積され、平野が形成されていった。海岸部ではそれぞれの造った平野が繋がっているため、全体として岡山平野の名が用いられる。平野の北部は自然堤防や後背地の発達する氾濫原で、その前面に低平な三角州が、そして塩田や新田として開発された近世の干拓地及び明治以降の干拓・埋立地がさらに海側に延びている。</p> <p>三角州は吉井川・旭川・高梁川の河口部にみられる。</p> <p>吉井川の三角州は、北は邑久町と長船町の境界部、県道飯井宿線あたりまで、南は邑久丘陵の西部から上寺山、西大寺の市街地、可知、益野、海吉を結ぶ範囲まで、標高2～5 mの地域に広がる。</p> <p>旭川の三角州は、北は龍ノ口 (標高257m) 山塊の南縁からダイミ山 (標高257m)、備前一宮、吉備津を結ぶ範囲まで、南は操山 (標高169m) 丘陵の南縁から岡山旧市街地南部、笹ヶ瀬川と足守川の合流部、早島丘陵の北縁を結ぶ範囲まで、標高2～5 mの地域に広がる。</p> <p>高梁川の三角州は、北は八幡山 (標高139m) の狭窄部まで、南は連島の北からJR新倉敷駅付近まで標高1～5 mの地域に広がる。</p> <p>高梁川と旭川の三角州は繋がっているが、JR中庄駅付近が両者の境界にあたる</p>				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
----	--------	-----	-----	----	-----

笠岡諸島 <small>かさおかしゅうとう</small> 笠岡諸島 笠岡諸島 笠岡諸島 笠岡諸島	海岸地形 > 多島海	Coa-isl-1-1-OKAY	③	大	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市沖合		5万 寄島・福山・仁尾			
解説	笠岡市の南方、瀬戸内海に浮かぶ島々は笠岡諸島あるいは備中諸島と呼ばれ、大小30を越える島からなる。片島、神島、高島、白石島、北木島、真鍋島、大飛島、小飛島、六島は人の住む比較的大きな島で、それ以外は無人島である。島嶼の配列や地形は北北西－南南東方向の断層や節理に支配されている。東の水島灘と西の備後灘に挟まれ、古くから海運が盛んであった。ほとんどの島は花崗岩からなり、白砂青松と青い海が調和する景観美によって、一帯は瀬戸内海国立公園に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
邑久町 <small>おくらちょう</small> 邑久町南岸のリアス海岸	海岸地形 > リアス海岸 (沈水海岸)	Coa-rias-1-1-OKAY	③	大	B
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡邑久町		2.5万 片上 (姫路16-2) ・牛窓 (徳島13-1)			
解説	日生町から片上湾を経て邑久町の南海岸、錦海湾、牛窓町西部にかけての瀬戸内海は、リアス海岸となっており、小さな入り江や岬が入り組んだ海岸線となっている。片上湾や錦海湾のような溺れ谷の奥には埋積性の平野や人工的な干拓地によって、平地が広がり、やや単調な海岸となっている。片上湾の東端、片上大橋から錦海湾にかけての邑久町南岸は、河川が小さいため、内湾部でも埋積が進んでいない。直線距離にして10km足らずであるが、澄んだ海と変化に富んだ海岸美から、一部が瀬戸内海国立公園に含まれている。海面にはカキの養殖イカダが浮かぶ。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
真鍋島 <small>まなべしま</small> 真鍋島西海岸の波食棚	海岸地形 > 波食棚 (波食台)	Coa-benc-2-1-OKAY	③	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市真鍋島		2.5万 白石島 (岡山及丸亀6-4)			
解説	笠岡諸島の一つ、真鍋島は周囲7.5km、面積1.6km <sup>2</sup> の東西に細長い島。真鍋島の西から南にかけての海岸は岩石海岸で低い海食崖が続く。海食崖の下には板状節理の発達した花崗岩を切って波食棚が分布する。瀬戸内海国立公園に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
勘三郎穴 <small>かんざぶろう</small> 勘三郎穴	海岸地形 > 海食洞	Coa-cave-1-1-OKAY	③	線U	A
所在地		図幅名			
岡山県 和气郡日生町大多府島		2.5万 日生 (姫路12-4)			
解説	大多府島の南海岸、高さ20mほどの岩壁に刻まれた海食洞。勘三郎洞ともいう。中生代の高田流紋岩類の節理に沿って形成されており、天井の高さは約5m、奥行きは70mに達する。勘三郎という者が洞内で偽金造りをしていたとの伝承がある。台風によって天井の一部が崩壊したため、内部に入ることはできない。この一帯は澄んだ海と白砂青松の海岸が続く、その景観美から瀬戸内海国立公園の一部に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
----	--------	-----	-----	----	-----

はだかいわ 裸岩の岩礁	海岸地形 > 岩礁	Coa-reef-1-1-OKAY	④	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 和気郡日生町		2.5万 日生(姫路12-4)			
解説	裸岩は日生諸島の鹿久居島と頭島、曾島、鴻島の4島のちょうど中間に浮かぶ小島。長さ100m足らずの細長い島で、岩礁によって島を取り巻かれている。干満の大きな瀬戸内海にあっては航路の大きな障害となっている。100mほど西隣にも、一回り小型の岩礁が存在する。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ひやくじんしょう 百尋礁	海岸地形 > 岩礁	Coa-reef-1-2-OKAY	④	微	A
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡牛窓町		2.5万 牛窓(徳島13-1)			
解説	牛窓町の南、黒島の西方海上にある岩礁。名前通りだと180mの大きさになるが、実際には20mほどの岩礁。東の端ノ小島までは100mしか離れておらず、中ノ小島や端ノ小島にみられる砂嘴が成長すれば、同じように陸繋されてしまうような位置にある。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
しづかわ 渋川海岸	海岸地形 > 砂浜	Coa-beac-1-1-OKAY	④	線	C
所在地		図幅名			
岡山県 玉野市渋川		2.5万 宇野(岡山及丸亀2-1)			
解説	玉野市渋川にあり、“浦田ヶ浜”とも呼ばれる。白砂の海岸が約500m続き、県下最大の海水浴場として整備されている。浜の幅は30~40m、高さは3m以下。砂浜を守るため、所々海に突き出す石垣造りの突堤があり、他所から運搬してきた砂が浜に加えられている。前方には瀬戸大橋や四国の山並みを望むことができる。 日本の渚百選の一つで、瀬戸内海国立公園の一部に指定されている。近くに青年の家がある。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
やよりがはま 矢寄ヶ浜	海岸地形 > 砂浜	Coa-beac-1-2-OKAY	④	中線	A
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡牛窓町		2.5万 牛窓・西大寺(徳島131・-3)			
解説	牛窓町の南西部、鹿忍にある白砂の砂浜で、矢寄から西脇まで約1km続く。かつては背後に潟湖が存在したが、埋め立てられてしまい、現在は見られない。昔源平合戦、屋島の戦いの際、多くの矢がこの浜に吹き寄せられたことから、この名が付けられた。遠浅で潮干狩りが楽しめる。西脇海水浴場がある。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
さみはま 沙美浜	海岸地形 > 砂浜	Coa-beac-1-3-OKAY	④	線	C
所在地		図幅名			
岡山県 倉敷市玉島黒崎		2.5万 玉島・水島港(岡山及丸亀5-2・6-1)			

解説	倉敷市の南西部、玉島黒崎にある白砂青松の砂浜海岸で県下最古の海水浴場である。砂美浜、沙美の浜とも呼ばれる。南に突き出した標高20mの丘にある諏訪岬を境に、沙美西浜と沙美東浜に分けられる。西浜は長さ1500m、幅100m、東浜は長さ900m、幅50mで海面からの高さは約2m。浜の両端に砂留め堤が築かれており、人工養浜の浜として知られる。海岸には花崗岩起源の粗砂が多い。日本の渚百選の一つに選ばれている。				
----	---	--	--	--	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ほんだ 番田海岸	海岸地形 > 砂浜	Coa-beac-1-3-OKAY	④	中線	B
所在地		図幅名			
岡山県 玉野市番田		2.5万 犬島(徳島13-4)			
解説	児島半島の東端部、岡山市と玉野市の境界に位置する番田の相引から南に向かって、胸上の波張崎まで続く砂浜海岸で、かつては塩田が点在していた。弁天崎や鉾島、大入崎など陸繋の小島や小さな岬では途切れながら、砂浜は延長3km近くに達する。砂浜の幅は数10mで、小さな礫を含む花崗岩起源の粗砂から構成されている。相引浜が最も広い砂浜である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
いぬじま 犬島の砂嘴	海岸地形 > 砂嘴	Coa-spit-1-1-OKAY	④*	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 岡山市犬島		2.5万 犬島(徳島13-4)			
解説	犬島は岡山市の久々井港から南東3kmの瀬戸内海に浮かぶ島で、犬島本島、犬ノ島、沖鼓島、白石島、地竹ノ子島、沖竹ノ子島の6島の総称である。西にある沖竹ノ子島から北に延びる砂嘴が150m離れた地竹ノ子島と繋がっている。地竹ノ子島からはさらに北の岩礁に向かって、長さ100m余り、幅は数mの砂嘴が突き出している。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おおびしま 大飛島の砂嘴	海岸地形 > 砂嘴	Coa-spit-1-2-OKAY	④*	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市大飛島		2.5万 白石島(岡山及丸亀6-4)			
解説	笠岡諸島の一つ大飛島は備後灘に浮かぶ小島で、周囲5.5km、面積1km <sup>2</sup> 、その東岸から東方の小飛島に向かって、長さ200m余り、幅は10m以下の小さな砂嘴が突き出している。砂嘴の付け根からは奈良時代の祭祀遺跡が見つかっており、自然が作りだした海中への砂嘴が神聖視され、祀られていたことが推測される。なお、近年は砂の供給が減少したのか、砂嘴は縮小傾向にある。湖岸線に平行する潮流が影響していると考えられる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
くろしま 黒島のトンボロ	海岸地形 > トンボロ及び陸繋島	Coa-tomb-1-1-OKAY	④*	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 邑久郡牛窓町黒島		2.5万 牛窓(徳島13-1)			

解説	黒島は牛窓港の南2kmの沖合に浮かぶ東西700m、南北250mの小島。黒島から西に砂嘴が伸び中ノ小島と繋がっている。そこからさらに砂嘴が伸びて西の端ノ小島とも繋がれている。3つの島が北側に湾曲する2筋の砂州で結ばれていることになる。砂州の長さはともに200m程度で、連結部を除くと幅は2～3mと細い。現在は波の侵食を受けて切り離されてしまった。ただ、干潮の時だけは歩いて渡ることができる。中ノ小島と端ノ小島は径100mに達しない無人の小島である。
----	---

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
くすのき 楠 付近のトンボロ	海岸地形 > トンボロ及び陸繋島	Coa-tomb-1-2-OKAY	④	小	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市北木島楠		2.5万 白石島(岡山及丸亀6-4)			
解説	笠岡諸島の一つ、北木島は周囲18km、面積7.3km <sup>2</sup> の花崗岩からなる島で、大阪城の石垣の用材となった北木石で知られる。トンボロは島の北東、楠にみられる。楠の東、南北に500m伸びる高さ30mの丘が陸繋島で、砂州は標高3m以下で長さはおよそ50mである。さらに東、布越のある標高38mの丘も陸繋島である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
つるしま 鶴島のトンボロ	海岸地形 > トンボロ及び陸繋島	Coa-tomb-1-3-OKAY	④	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 和気郡日生町鶴島		2.5万 日生(姫路12-4)			
解説	日生諸島の一つ、鶴島は周囲2km、面積0.16km <sup>2</sup> の流紋岩からなる小さな島である。鶴島から、北西に砂嘴が100m余り伸びて、岩礁で囲まれた小島と繋がっている。そこからさらに北西に80mほど伸びる砂嘴が北西の岩礁と繋いでいる。3つの小島が幅20m以下の細い砂州で結ばれていることになる。鶴島は個人の所有で、定期便はない。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
みたらいいけ 御手洗池	海岸地形 > 潟湖(ラグーン)	Coa-lago-1-1-OKAY	②	小	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市神島貝崎		2.5万 福山東部(岡山及丸亀10-1)			
解説	笠岡市の神島の西部、見崎地区にある。東西に伸びる小さな砂州によって、北の海とは隔てられている。池は径約200mの扇形をしている。神武天皇が吉備に行幸の際に、この地に立ち寄り、手を洗ったという伝承がある。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
かくいじま 鹿久居島東の池	海岸地形 > 潟湖(ラグーン)	Coa-lago-1-2-OKAY	②	小	B
所在地		図幅名			
岡山県 和気郡日生町鹿久居島南東		2.5万 日生(姫路12-3)			
解説	日生諸島の一つ、鹿久居島は周囲28km、面積9.9km <sup>2</sup> で、岡山県では最大の島。島の東端鶴ノ石鼻灯台の北500mほどにある西海岸に、小さな砂浜が見られる。径50mの潟湖がその背後にある。鹿久居島の東部には、人が住んでおらず、現地へ行くには海上の道しかない。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
ここのしますいどう 神島水道の干潟	海岸地形 > 干潟	Coa-tida-1-1-OKAY	②	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市天神沖		2.5万 寄島（岡山及丸亀6-3）			
解説	笠岡市の南部には笠岡湾干拓地によって狭められた笠岡湾が南東方向へと細長く続く。湾の南東部の神島と横島、御嶽山山塊（西大島地区）で囲まれた海域は神島水道と呼ばれ、干潮時に広い陸地が現われる。干潟は水道の出口まで、両岸に見られる。この海域は国の天然記念物、カブトガニの生息地として保護されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
すいもんわん 水門湾の干潟	海岸地形 > 干潟	Coa-tida-1-2-OKAY	②	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 岡山市水門町沖		2.5万 西大寺（徳島13-3）			
解説	児島湾の東部、水門湾に見られる干潟。近世以前は、この一帯に浅い海が広がり、児島半島も瀬戸内海に浮かぶ島であった。吉井川や旭川の河口部には三角州が形成され、その前面にはかなり広い干潟が残されていた。しかし、江戸時代に入ると、干拓による新田開発が盛んになり、干潟は干拓地へと変貌させられた。干拓事業は昭和時代まで続いた。近世初頭の水門湾周辺には、児島湾から続く幸島湾が水門町、南水門町、北幸田一帯にまで湾入しており、西幸島や東幸島は湾に浮かぶ島であった。水門湾はその後の干拓によって狭められた幸島湾の名残で、吉井川による土砂の埋積からかろうじて免れている状態である。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
たましまわん 玉島湾の干潟	海岸地形 > 干潟	Coa-tida-1-3-OKAY	②	中	C
所在地		図幅名			
岡山県 倉敷市玉島柏島・玉島乙島		2.5万 玉島（岡山及丸亀5-2）			
解説	玉島湾の奥、里見川河口部に広がる干潟。東西にかつては海に浮かぶ島であった柏島と乙島に挟まれた範囲で、2km近く続いている。柏島と乙島の山塊によって波静かな入り江になっている。前面には玉島の干拓地が延びる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
いおうざん 医王山南麓の麓屑面	気候地形 > 麓屑面	Cli-colv-1-1-OKAY	④	中S	C
所在地		図幅名			
岡山県 備前市		2.5万 片上（姫路16-2）			
解説	岡山県の瀬戸内沿岸には、標高は大きくないが、急峻な山腹斜面と山麓に広がる緩斜面を併せもつ山がいくつも存在する。備前市西部の医王山（標高301m）もその一つで、高田流紋岩からなる山体である。山腹（標高250～100m）は非常に急で、山麓（標高70～30m）には帯状に緩斜面が広がる。緩斜面は径数cmの亜角礫～角礫からなる礫層によって構成される。礫層は厚さ数m、無層理で淘汰が悪く、いわゆる麓屑面に該当する。礫は半クサレ状態であるが、麓屑面の形成時代は不明である。隣接する山々の山麓にも類似の地形がみられる。 麓屑面の南をJR山陽新幹線、山陽本線、国道2号線が通っている。なお、前面にある大ヶ池は備前焼の原料の粘土を採掘した跡地であるといわれる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
りゅうおうざん 龍王山西麓の麓層面	気候地形 > 麓層面	Cli-colv-1-2-OKAY	④	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 笠岡市		2.5万 笠岡(岡山及丸亀5-4)			
解説	龍王山(標高267m)は笠岡市の北部にある流紋岩からなる山地で、山腹の急斜面を取り巻くように山麓に緩斜面が発達している。緩斜面は最大径50cmを越える亜角～角礫で構成される。礫層の厚さは3m以上ある。不明瞭ながらも層理があり、水流の影響が認められることから、これらは沖積錐に相当すると考えられる。山麓の浅い小谷の出口に小沖積錐がいくつも造られ、それらが連結して複合沖積錐のようになったものである。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
うしろやま 後山南西麓の麓層面	気候地形 > 麓層面	Cli-colv-1-3-OKAY	④	中S	B
所在地		図幅名			
岡山県 英田郡東粟倉村		2.5万 西河内・千草・古町(姫路9-3・10-1・10)			
解説	後山(標高1345m)の南西麓にみられる幅の広い浅い谷状の緩斜面。隣接する複数の谷状の緩斜面が末端部では合成されて、複合扇状地状になっている。背後にそびえる後山や鍋ヶ谷山(標高1253m)、駒の尾山(標高1281m)の山頂部は中生代の安山岩類、中腹部には三郡変成岩から構成され、山麓部は風化した花崗岩地帯となっている。麓層面は変成岩と花崗岩の境界部から下方、標高600～400mに形成されている。麓層面の低い部分では近世の砂鉄採取「鉄穴流し」が行なわれており、地形がかなり改変されている。 見よ→後山付近の鉄穴流し跡：Mis-iron-1-2-OKAY				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
きびこうげん 吉備高原	その他の地形 > 隆起準平原	Mis-pene-1-1-OKAY	*②	大L	B
所在地		図幅名			
岡山県 高梁市・新見市・川上郡・久米郡・上房郡・御津郡他 広島県神石郡他		20万 高梁・広島			
解説	吉備高原は中国山地と瀬戸内海の間に位置する標高200～600mの高原状の山地。岡山県の中央から広島県の東部まで広がり、高梁川と旭川の流域がこれに相当する。これらの河川は100～200m切り込んで、深い谷を造っているため、吉備高原は谷に隔てられた台地状の高原となっている。全体として緩やかに波状に起伏する小起伏の山地で、隆起準平原であると日本で最初に指摘された。その後、吉備高原は複数の侵食小起伏面に細分され、標高400～500mの吉備高原面(吉備面)と300～400mの瀬戸内Ⅰ面あるいは世羅台地面/都野津面、200～300mの瀬戸内Ⅱ面などに分類された。したがって、地域としての吉備高原には、吉備高原面以外の隆起準平原を含んでいる。一方、地形用語としての吉備高原面は高梁川と旭川流域の範囲の他に、標高400～500mの侵食小起伏面に対しても用いられている。吉備高原面も瀬戸内面も、ともに河川によって100～200m切り込む谷が形成されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
つぐろ 津黒高原	その他の地形 > 準平原遺物	Mis-pene-2-1-OKAY	②	中	B

所在地		図幅名	
岡山県 真庭郡中和村		2.5万 下鍛冶屋 (高梁1-3)	
解説	津黒高原は津黒山 (標高1118m) の北西に広がる定高性の著しい丘陵状の小起伏山地である。標高は600～700m, 花崗岩から構成される。吉備高原より1段高い侵食小起伏面に相当する。定高性をもつ小起伏山地は、旭川水系の下和川の右岸にも広がっており、鳥取県境から三朝町側にも一部続いている。鳥取県側は天神川水系の福本川や大谷川によって深い谷が刻まれ、県境付近にまで谷頭侵食が進みつつあり、県境を境として対照的な地形となっている。湯原・奥津県立自然公園に含まれ、国民宿舎や芝スキー場などがある。		

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
はつちようなわて 八丁畷の準平原	その他の地形 > 準平原遺物	Mis-pene-2-2-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 上房郡賀陽町吉川		2.5万 東山内 (高梁16-3)			
解説	賀陽町吉川から西庄田, 小茂田にかけて約6 km <sup>2</sup> の広がりをもつ標高360m前後の台地状の地形。吉備高原の侵食小起伏面の一部に相当し、非常に平坦である。旧輪廻の谷に堆積した砂礫層 (山砂利) からなり、水田として利用されている。岡山県の天然記念物に指定されている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
はいがたわ 灰ヶ峠付近の鉄穴流し跡	その他の地形 > 鉄穴流し跡	Mis-iron-1-1-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 新見市		2.5万 足立 (高梁10-2)			
解説	中国山地では、近世に「鉦」と呼ばれる砂鉄精錬業が盛んであった。その原料は地元で産出する木炭と砂鉄であった。風化した花崗岩類の尾根や斜面を掘り崩し、流水による比重選鉱で砂鉄を採集していた。この手法が「鉄穴流し」である。鉄穴流しによって、山麓斜面は大規模に改変された。鉄穴流しの跡地はならされて耕作地として利用された。また、岩盤の中で未風化の部分は、堅くて掘り崩せなかったため、突起状の残丘「鉄穴残丘」として残っている。人為的な削り取りは厚さ5m位である。なお、掘り流した土砂の一部は源頭部や谷の出口に流し込まれて、「流し田」が造成された。多くの土砂は下流部へと運ばれ、河道や海岸に堆積し、天井川や三角州を拡大させた。 新見市菅生の灰ヶ峠は高梁川沿いの谷から東へ1 kmほど入った山中にあり、隔絶した小盆地となっている。一帯は風化の進んだ花崗岩や花崗閃緑岩が分布しており、近世には盛んに鉄穴流しが行なわれた。鉄穴流しの跡地は標高500～600mにかけてみられ、小さな凹凸の点在する丘陵と浅い谷が入り組んだ複雑な地形となっている。 旧菅生村には鉦や鉄穴流しと関連がありそうな、鉄クソ、鉦ヶ成ル、鉦谷、流し田、古鉦などの小字がみられる。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
うしろやま 後山付近の鉄穴流し跡	その他の地形 > 鉄穴流し跡	Mis-iron-1-2-OKAY	②	中	B
所在地		図幅名			
岡山県 英田郡東粟倉村		2.5万 西河内・千草・古町 (姫路9-2・10-1・10-3)			

解説	東栗倉村後山付近の山麓部には、風化の進んだ粗粒な花崗岩が広く分布し、盛んに鉄穴流しが行なわれた。鉄穴流しの跡地は標高400～500mにかけて分布し、小さな鉄穴残丘の点在する山麓緩斜面あるいは扇状地状の地形となっている。現在は水田が広がり、集落も立地している。 見よ→後山南西麓の麓層面：Cli-colv-1-3-OKAY 灰ヶ峠付近の鉄穴流し跡：Mis-iron-1-1-OKAY				
----	--	--	--	--	--

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
鯉ヶ窪湿原	その他の地形 > 低層湿原	Mis-pond-3-1-OKAY	③	中S	B
所在地		図幅名			
岡山県 阿哲郡哲西町		2.5万 東城 (高梁11-4)			
解説	哲西町矢田地区の標高550mにある湿原。幕末に造られた鯉ヶ窪池の周辺に広がる。池の上流部でサワツタ(沢っ田)とよばれる湿原は規模が大きい。西日本最大級の湿原として、鯉ヶ窪湿生植物群落、27haが国の天然記念物に指定されている。リュウキンカやハンカイソウ、ノハナショウブ、ヒツジグサ、オグラセンノウ、サギソウなどが群生するほか、ハッチョウトンボも生息している。湿原の周囲を巡る遊歩道が設けられている。				

名称	地形種>項目	コード	重要度	規模	保存度
おおの 大野の整合	その他の地形 > その他の露頭	Mis-crop-2-1-OKAY	③	線	B
所在地		図幅名			
岡山県 苫田郡鏡野町		2.5万 香々美 (高梁2-1)			
解説	鏡野町竹田、香々美川右岸にみられる高さ30mの露頭。第三紀の砂岩と泥岩が水平に10～50cmの厚さで、交互に積み重なって、500m近く続く。その上を第四紀の段丘礫層が不整合に覆っている。何層も堆積した級化成層を一望にみられる露頭ということで、県の天然記念物に指定されている。				

## 文 献

- 光野千春・沼野忠之・野瀬重人(1980)『岡山県地学のガイド』コロナ社, 252ps.  
 光野千春・沼野忠之・高橋達郎(1980)『岡山の地学』山陽新聞社, 335ps.  
 山陽新聞社(2000)『岡山県万能地図』山陽新聞社, 188ps  
 岡山県大百科事典編集委員会・山陽新聞社出版局(1979)『岡山県大百科事典—上巻』山陽新聞社, 1492ps  
 岡山県大百科事典編集委員会・山陽新聞社出版局(1979)『岡山県大百科事典—下巻』山陽新聞社, 1462ps  
 日本地下水学会(1994)『名水を科学する』技報堂出版, 299ps.  
 小畑 浩(1991)『中国地方の地形』古今書院, 262ps.  
 小泉武栄・青木賢人(2000)『日本の地形レッドデータブック—第1集—危機にある地形』古今書院, 210ps  
 岡山県(1989)『土地分類基本調査—倉吉・奥津 5万分の1—』29ps.  
 岡山県(1983)『土地分類基本調査—玉島・福山・寄島・仁尾 5万分の1—』38ps.  
 岡山県(1980)『土地分類基本調査—勝山 5万分の1—』39ps.  
 岡山県(1980)『土地分類基本調査—津山東部 5万分の1—』43ps.  
 岡山県(1979)『土地分類基本調査—岡山南部 5万分の1—』33ps.  
 岡山県(1979)『土地分類基本調査—西大寺 5万分の1—』29ps.  
 岡山県(1989)『土地分類基本調査—智頭・鳥取南部 5万分の1—』28ps.  
 岡山県(1984)『土地分類基本調査—井原・油木 5万分の1—』41ps.

- 岡山県 (1990) 『土地分類基本調査—坂根・佐用 5万分の1—』 28ps.  
岡山県 (1987) 『土地分類基本調査—大山・湯本 5万分の1—』 32ps.  
岡山県 (1986) 『土地分類基本調査—上石見・根雨 5万分の1—』 28ps.  
岡山県 (1985) 『土地分類基本調査—新見 5万分の1—』 33ps.  
岡山県 (1981) 『土地分類基本調査—和気・播州赤穂 5万分の1—』 38ps.  
岡山県 (1982) 『土地分類基本調査—周匝・上郡 5万分の1—』 43ps.